

厳しい経済状況の中

# 「安全と安心のまち 本庄」

の実現を目指して

吉田市長は、2月26日に開会した平成21年市議会第1回定例会において、新年度の市政運営の基本的な考え方と主な施策を説明しました。孫子の代まで引き継げる「持続可能なまちづくり」に向けて、職員一丸となって行財政の改革に取り組むと抱負を述べました。（以下要旨）



吉田 信解 市長

新市の市長として4年目を迎えます。今年も、市民のみなさんとともに、子どもたちが大人になったときに誇りに思える故郷を、活力と魅力あふれるまちを築くため、粉骨砕身がんばりますので、ご支援とご協力をお願いします。

## 行政経営について

「コンパクトで効率的な行政経営を」

世界的な景気後退や全国的な少子高齢化の中で、今後いかにして持続可能な社会づくりを進めるかが大きな課題となっています。

そのような情勢を見据え、本市では、総合振興計画に掲げた市の将来像「あなたが活かす、みんなで育む、安全と安心のまち 本庄」世のため、後のため」の実現に向けて、さまざまな施策を行います。

そのためには、これまで以上に行政改革、選択と集中を徹底し、市民のみなさん、議会、行政の三者で危機意識を共有し、「何を為し、何を為さぬか」「如何に為すか」を念

頭に置き、事業遂行に当たる必要があります。

今年、①「子育て・教育環境の充実したまちづくり」②「市民との協働を推進するまちづくり」③「安全安心のまちづくり」④「活力を高めるまちづくり」⑤「全国に知られるまちづくり」という5つのキーワードを掲げ、まちづくりを推進していきます。

## 予算編成について

「限られた予算で、最大限の効果を」

平成21年度予算案の規模は、一般・特別・企業会計を合わせて、435億7、115万円となります。平成20年度の当初予算額と比較すると、0・3%の増となります。

市の財政状況について説明しますと、平成19年度決算では、財政調整基金を約4億6、000万円取り崩すなど、依然として厳しい状況にあります。新年度においても、市税等の減収や扶助費等の増加が見込まれるため、より一層厳しさを増すものと考えられます。

こうした状況を踏まえますと、各施策の意義・目的・効果等を念頭に置き、柔軟な発想で、既存事業の大胆な見直しをする必要があります。新年度予算は、先述の5つのキーワードに基づき、財政の健全性の確保に留意し編成しました。

## 主な施策について

「選択と集中の徹底を」

### 健康福祉

子どもからお年寄りまで、健やかで安心して暮らせるまち

健康で安心して暮らせるまちは、市民のみなさんの強い要望であり、まちづくりの前提といえます。

子育て支援では、昨年度に設計委託を終えた新千代田保育所を整備し、通常保育のほか一時保育などにも力を入れます。子ども医療費の助成につきましても、これまで小学校就学前まででしたが、中学校就学前までに対象を広げます。

母子保健事業として、妊婦に対する健康診査の公費負担を5回から14回に拡大します。

障害者福祉の分野では、児玉郡市に在住する障害者の就労支援を図るため、郡内3町と協力して、今年度から障害者就労支援センターの運営を開始します。



## 市民生活

### 市民と行政が連携し、 ともに地域を支えるまち

市民同士、市民と行政が協力し、安心して暮らせる豊かなまちづくりに取り組みます。

市民との協働を推進するため、自治会・コミュニティ団体・ボランティア団体・NPOの活動を支援します。人権を尊重する社会を目指して、昨年度に策定しました「男女共同参画プラン」により、男女共同参画を推進します。

危機管理体制の充実につきましては、洪水ハザードマップと地震ハザードマップを作成・配布し、防災意識の向上を図ります。また、市内を会場に、埼玉県と本庄市の共催による「第30回八都県市合同防災訓練」を開催し、万一の災害時に備えます。



## 教育文化

### 明日を拓く人を育み、 魅力ある文化が育つまち

まちづくりは、人づくりから始まるといっても過言ではなく、教育や文化の振興は大変重要だと考えます。

教育環境を整備するため、引き続き市内小中学校の校舎等の改築・耐震補強工事を進めていきます。さらに、市内小中学校の普通教室及び特別支援教室に扇風機を設置し、良好な教育環境を整えます。

生涯学習の分野では、私の公約でもありました移動図書館車を導入します。また、高齢者や社会人など幅広いニーズに対応した講座を開催します。

生涯スポーツを促進するために、今年度は市民体育祭を復活させ、市民のみなさんの健康保持・増進や地域交流の活発化を目指します。



## 経済環境

### 地域の価値を高め、 活発な産業活動が広がるまち

活力ある本庄市を築くためには、内外の力を結集し、地域資源を有効に保全・活用することが必要です。

農林業の振興では、新たなブランド作物の開発や、牛の放牧による耕作放棄地の解消など特色ある試みにより、全国に知られるまちづくりを目指します。

商工業の振興では、定額給付金の給付に合わせ、プレミアム付き地域産業振興券「本庄元気チケット」を発行します。また、中心市街地の空き店舗を利用する事業者や、市内中小企業への支援を引き続き行い、地域経済の活性化に努めます。

## 都市基盤

### 自然と人に優しく、 多彩な交流が生まれるまち

市民のみなさんが便利で快適な生活を送り、人が集まる賑わいのあるまちにするために、計画的にまちづくりを行います。

市街地整備として、本庄早稲田駅周辺区画整理事業を速やかに推進し、市の新たな顔として、自然と調和したまちづくりを目指します。また、国道17号本庄道路の早期着手に向け、関係機関に働きかけていきます。上水道の整備では、今年度より本



## 行財政経営

### 満足度の高い行政サービスを 効率的に提供するまち

市民のみなさんに行き届いたサービスを提供し、市民の暮らしを支えることは行政の使命だと考えます。

行政への市民参加を促すために、「市長への手紙」や「市長との対話集会」などを継続実施し、市民の声を市政に活かします。また、行政の透明性を高めるため、情報公開制度を活用します。

財政の自主性・自立性を高めるために、今年度も引き続き市債の元金償還を実施します。また、自主財源の確保やコスト削減に努め、計画的な財政運営を行います。

庄、児玉両地域の水道事業を統合し、統一料金を開始します。下水道の整備につきましても、今年度より料金改定を行うほか、児玉地域の一部で公共下水道の供用を開始します。